

「令和 6 年度省エネ住宅の普及拡大に向けた課題分析・解決手法に係る調査検討事業委託業務」の入札説明書に関する質問回答

令和 6 年 3 月 8 日
環境省 地球環境局
地球温暖化対策課
地球温暖化対策事業室

No.	質問事項	回答	備考
1	仕様書 3 の留意事項 1) は、「業務番号 (1) イ、(2) イ、(2) イについては 6 月中旬をめどに中間報告～」となっておりますが、(2) イが 2 回出てくるので、記載ミスのようにでしたら、正しい業務番号をご教示いただけると幸いです。	御指摘いただいたとおりです。 正しくは、「業務番号 (1) イ、(2) イ、 <u>(2) ロ</u> については 6 月中旬をめどに中間報告を行うこと」となります。	
2	仕様書 3 の留意事項 2) は、「業務番号 (1) ロ、(3) イ③、(3) イ」となっておりますが、(3) イ③というものは見当たらないため、記載ミスのようにでしたら、正しい業務番号をご教示いただけると幸いです。	御指摘いただいたとおりです。 正しくは、「業務番号 (1) ロ、 <u>(2) イ</u> 、 <u>(3) イ</u> 、 <u>(3) ロ③</u> 」となります。	
3	仕様書 3 (1) イの関係省庁を含めた補助実績の整理については、補助実績データの参照方法等について想定がございましたらご教示いただければ幸いです。（公表データから整理するのか、関係省庁から貴省経由で非公開データをいただくのか、受託者から直接関係省庁に問合せを実施して非公開データを入手する想定なのか、を確認できればと考えております。）	現時点では、環境省経由で取得した関係省庁の補助実績データを参照いただくことを想定しております。	

No.	質問事項	回答	備考
4	仕様書 3（2）イの CO2 削減効果等の算出は、「地球温暖化対策計画における対策の削減量の根拠」 https://www.env.go.jp/content/000051887.pdf のように無対策ケースと省エネ住宅のエネルギー消費量を比較して補助件数も加味して計算するものと理解しましたが、地球温暖化対策計画では詳細なエネルギー消費量の基準値は示されておりませんので、受託者にて一定の想定のもとで計算する形で問題ないでしょうか。	御理解いただいているとおりです。 環境省担当官と相談の上、適切な算出手法を検討していくことになります。	
5	仕様書 3（2）ロ④の「実態調査」は具体的に何を調査することを想定されておりますでしょうか。補助事業の要件に係る検討のために、集合 ZEH-M（中高層）で使用されている高性能断熱材・開口部材の種類やその普及状況でしょうか。	高性能断熱材・高性能窓等の種類や性能分布を分析いただき、補助事業として適切な要件等を御提案いただくことを想定しております。	
6	仕様書 3（3）のポータルサイトの分量は提案次第と理解しておりますが、貴省の ZEB ポータル https://www.env.go.jp/earth/zeb/ と比較して、分量のイメージはございますでしょうか。（同ページでは、「ホーム」「ZEB とは？」・・・と大きく 10 個のコンテンツに分かれておりますが、例えばコンテンツ〇個分程度など）	現時点では、地方自治体における省エネ住宅支援策の検索システム（※）のほか、10 程度のコンテンツ（「ZEH とは？」「ZEH-M とは？」等）の設置を想定しております。 （※）仕様書 3（1）ロの調査結果を活用 環境省担当官と相談の上、具体的なコンテンツについて検討していくことになります。	